

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年12月14日

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	庄原市	代表者名	田部伸宏
担当者部署	企画振興部	連絡先電話番号	0824-73-1148
担当者役職	係長	担当者氏名	俵 啓介
住所	727-8501 広島県庄原市中本町1-10-1		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	田中 淳一
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	今後のDXの進め方について、現在の職責で取り組まれている事例や、これまでの経験と実績、世界的な社会環境をも踏まえた提言をいただくことができた。 当日は、我々が抱く課題についてのアドバイスを、アドバイザー自身が作成された資料を基に解説され、こちらの状況を深く理解した上での助言となるように取り組まれている姿勢が伝わり、良い雰囲気の中で指導・助言を受けることができた。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続的にご指導いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年1月30日	講演	有	令和4年12月8日	414・432・433・434
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和4年12月13日	支援・助言	16時30分	17時30分	
				活動時間 (分)	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員 (課長1、係長1、係員3)	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市のような人口減少・少子高齢化が進む中山間地域においては、増加する行政サービスに対して、税収や労働者が減少するといった状況が間近に迫っており、デジタル化によって業務効率を上げていかなければ、市政及び組織を維持することができなくなるのではないかといった危機感を持っている。職階に限らず、DXを自分事として捉え、構想力を持ち、明確なビジョンと戦略を描ける職員の育成や機運の醸成が課題と考えている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	最新のICT活用事例や実践事例の助言を通じて、これからのデジタル社会に対応する市役所職員の育成、マインドの醸成の取り組み方針を定めていく。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	首長をはじめとした特別職、幹部職員、一般職へ、組織の在り方、業務の在り方・考え方などへの自治体DXと言われるICT活用と業務改革、デジタルマインド醸成の進め方について ・首長等へのアプローチの仕方、ファクトを示すことの重要性 ・外部から見た自治体のイメージと労働力流動化の現状と将来の形 ・三重県庁での実践事例、即着手できるスモールスタートの提示	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本市デジタル担当部署としての今後の取り組み方について職員間で次の共通理解ができた。 首長等へは制度や事業の説明ではなく、現状を簡潔に伝えることからアプローチするほうが良い。全庁的な展開は初めから理想像を求めず、まずは自分たちの所属でできることに早期着手し、実証していくことが自治体DXを進めるうえで、遠回りのようだが一番の近道であること。働き方、業務の進め方について、自治体独自の特色を尊重し、機動的には民間との連携を促す方向にシフトしたいと	

	力について、自治体独自のやり方を変え、将来的には民間との標準化を図る方向にシフトしないと人材確保が難しいこと。ソリューションから入らず、何が課題なのか、どこを目指して変革していくのかを考えて設定することから始めることが、成功する進め方であること。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今後の取り組みについての指導・助言のため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	全庁的な自治体DXの推進	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



